

全市的な小中一貫教育の推進について（案）

【豊中市の「小中一貫教育」がめざすもの（理念）】

義務教育9年間の系統性ある学びで、未来を生きる子どもたちに必要な力を育む教育

～重点テーマ～

コミュニケーション力の育成 主体性、思考力、表現力、協調性、調整力、創造力など

【小中一貫教育の魅力（メリット）】

①9年間を見通したカリキュラム

- ・ 9年間の系統性・連続性のある教育による確かな学力の定着・向上、体力向上
- ・ 義務教育9年間の前期（小1～4）、中期（小5～中1）、後期（中2～3）の発達段階を意識した指導の充実

②学習指導の充実

- ・ 専門性の高い魅力ある授業の展開（小学校高学年の教科担任制・小中学校間での乗り入れ授業等）

③9年間の切れ目のない一貫した支援

- ・ 9年間を通して子どもに寄り添い、守り育てる生徒指導体制による不登校や問題行動の未然防止、早期発見・早期対応

④異学年交流

- ・ 異学年（異年齢）の交流活動の充実による自己肯定感・責任感・思いやりの心を醸成、社会性の育成

⑤コミュニティ・スクールとの一体的な推進

- ・ 小・中学校を通じて地域が支援する「地域とともにある学校づくり」

具体的取組み内容

① 小中一貫教育の基本的な考え方の決定 ～（仮称）小中一貫教育に関する基本的方針の策定～

- ・ 学校形態・学校規模等について整理、教職員の連携体制、学校と地域との連携

② めざす子ども像の共有、交流等 ～小中一貫教育推進事業の全校実施～

- ・ 校区ごとの「めざす子ども像」など学校運営方針の共有
- ・ 中学校教員の小学校への乗入れ授業
- ・ 新入学予定生徒についての情報交換、連絡会の開催
- ・ 小・中学校合同研修会の開催（キャリア教育、人権、生徒指導、児童生徒理解等）
- ・ 小・中学校交流会における小6児童の中学校授業体験、クラブ見学
- ・ 小・中学校間の研究授業への参加や公開授業の見学

③ 発達の早期化等に対応した専門的な指導体制の充実

1 小学校高学年教科担任制（拡充）

- ・ 5年生6年生の全学級で、外国語・算数・理科・体育の4教科うち**原則2教科以上の教科担任制**を実施

2 外国語/英語教育の充実

- ・ 教員とAETの**チーム・ティーチング体制**の確立
- ・ 小学校3年生・4年生の外国語活動について、順次教科担任制を推進

3 理科教育の充実

- ・(仮称)小学校理科支援員の派遣による小学校理科の**観察・実験を通じた学習指導**の改善・充実

4 体育教育の充実

- ・(仮称)小学生体力づくり事業 (**各校が選択した種目の外部指導者を体育授業に派遣**)

5 少人数指導

- ・算数／数学など、**習熟度等によって学習形態を切り替える**事が効果的な教科について**指導単位を少人数化**

④ 学校規模、学校施設の状況等を踏まえた新たな仕組み

～「**学園制**」(中学校併設型小学校・小学校併設型中学校)を**順次導入**～

学園制 (運用上の小中一貫教育と区別された、義務教育学校とは別の小中一貫教育を施すための仕組み)

- 関係校の教育課程編成権は教育委員会 (通常は各学校長)
- 小中一貫教育を施すための「**ふさわしい運営の仕組み**」を教育委員会規則により明確化
 - ⇒関係小・中学校を一体的にマネジメントする組織を設置
 - ⇒学園長を中学校校長とし、教育課程編成権を学園長へ委任・小中一貫教育担当教員を市費配置
 - ⇒**中学校区を単位とした「学校づくり計画」**を策定
- 義務教育学校と同様に、小中一貫教育のための**特別の教育課程 (独自教科) 実施可能**

⇒ 分割校の解消、組織設置 (市費人員配置) が必要となるため、中学校校区単位で順次実施